
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第20週
(5月12日～5月18日)

- * 2008年5月21日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2008年4月)の疾患も掲載しています。

平成20(2008)年5月22日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話 : 03-3363-3213(直通)
FAX : 03-5332-7365
e-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年20週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		17週	18週	19週	20週		20週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	87	78	43	53	1433	291	8791
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三類	コレラ					2		17
	細菌性赤痢			1	3	22	4	103
	腸管出血性大腸菌感染症	2	4	1	2	24	53	426
	腸チフス				1	5	1	19
	パラチフス		1			3		15
四類	E型肝炎		1			4		18
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1		2	13	1	66
	エキノコックス症							5
	黄熱							
	オウム病						1	1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサスル森林病							
	Q熱		1			1		2
	狂犬病							
	コクンジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					4	5	67
	デング熱				1	7	3	22
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱							5
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
マラリア					6		11	
野兔病							2	
ライム病							2	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	2		1	2	26	10	272	
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								

五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	5	2	1	62	4	293
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		2			11		76
	急性脳炎 ***					5		79
	クリプトスポリジウム症					2		2
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1			5	2	52
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2			12	1	50
	後天性免疫不全症候群	17	14	2	7	210	13	518
	ジアルジア症			1		10		31
	髄膜炎菌性髄膜炎				1	1	1	6
	先天性風しん症候群							
	梅毒	3	3	3	3	65	10	275
	破傷風					2		26
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1	1	6		26
	風しん	3	2		1	23	5	169
麻しん	43	45	34	48	895	302	8073	
2008/5/21集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 53件 肺結核35件、その他18件で、推定感染地は国内50件、韓国1件、インドネシア/イギリス1件、国内/フィリピン1件。年齢は5歳未満1件、10歳代1件、20歳代11件、30歳代1件、40歳代10件、50歳代6件、60歳代7件、70歳代6件、80歳代9件、90歳代1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 3件 フレキシネル2件、ボイド1件で、推定感染地は国内2件、カンボディア1件、感染経路はいずれも不明であった。フレキシネルの2件は同居者での国内発生であった。

腸管出血性大腸菌感染症 2件 ともに有症状者で、血清型・毒素型はともにO157(VT1VT2)。年齢は10歳未満、10歳代が各1件であった。

腸チフス 1件 推定感染地はベトナムであった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 2件 推定感染地はともに国内で、1件では生カキ喫食との関連が疑われおり、他の1件では感染経路不明であった。

デング熱 1件 推定感染地はインドネシアで、同行者2名(他県)も類似症状があり検査中。

レジオネラ症 2件 肺炎型2件で、患者は40歳代男性と70歳代男性。推定感染地は埼玉県、長野県で、ともに温泉利用との関連が疑われている。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 1件 腸管アメーバ症で、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触であった。

後天性免疫不全症候群 7件 無症候キャリア5件、AIDS 1件、その他1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触6件(同性間4件、異性間1件、両性間1件)、異性間性的接触/静注薬物使用1件であった。

髄膜炎菌性髄膜炎 1件 血清群は不明で、国内における接触感染が疑われている。

梅毒 3件 早期顕症梅毒I期、早期顕症梅毒II期、無症候梅毒が各1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて性的接触(同性間1件、性別不明2件)であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 血液から菌が検出されており、医療施設での感染が疑われている。耐性遺伝子型は不明。

風しん 1件 検査診断例の40歳代男性。風しん含有ワクチン接種歴は無かった。

麻しん 48件 麻しん(検査診断例)18件、麻しん(臨床診断例)23件、修飾麻しん(検査診断例)7件で、年齢は10歳未満16件(うち5歳未満8件)、10歳代18件、20歳代8件、30歳代5件、40歳代1件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は無し17件、1回20件、2回2件、不明9件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年20週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		17週	18週	19週	20週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	5	6	2	1	0.01	148	150
	咽頭結膜熱	46	59	58	64	0.43		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	365	312	250	437	2.95		
	感染性胃腸炎	1,101	794	745	888	6.00		
	水痘	231	203	250	239	1.61		
	手足口病	11	16	16	16	0.11		
	伝染性紅斑	36	17	15	20	0.14		
	突発性発しん	126	74	81	103	0.70		
	百日咳	12	7	6	11	0.07		
	ヘルパンギーナ	8	7	8	15	0.10		
	流行性耳下腺炎	46	62	49	57	0.39		
	不明発しん症 (注1)	10	9	7	15	0.10		
	MCLS(川崎病) (注1)	3	0	3	0	0.00		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	135	93	19	48	0.17	285	290
眼科	急性出血性結膜炎	4	3	1	2	0.05	38	39
	流行性角結膜炎	17	20	20	21	0.55		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	1	0	1	2	0.08	24	24
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	8	6	2	6	0.25		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	2	0	3	0.13		
2008/5/21集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻疹、成人麻疹は2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・A群溶血性レンサ球菌感染症の定点当たり報告数は増加し、2007年とほぼ同様の推移を示している。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は、2008年は過去5年平均の1/2程度のレベルで推移している。
- ・百日咳の定点当たり報告数は増加した。患者実数は11人で、うち5人が20歳以上であった。成人層における流行に引き続き注意が必要である。
- ・クラミジア肺炎の定点当たり報告数は再び増加した。

(定点医療機関からのコメント)

今週は定点医療機関からのコメントはありませんでした。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年20週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	1			5	3		1	4	2	
～11か月		1	6	45	15	2		45	1	2
1歳		12	9	110	41	4		40		5
2歳		13	21	84	41	2		9		2
3歳		14	36	110	42	3	3	4	1	
4歳		9	48	98	37	2	1			4
5歳		2	59	75	25	1	5	1		
6歳		2	61	52	6	1	4			
7歳		3	71	39	10		1		1	1
8歳		1	39	39	5	1	2			
9歳			22	31	5					
10～14歳		6	45	84	4		1		1	
15～19歳			2	14	1		1			
20～29歳		1	18	102	4		1		5	1
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	1	64	437	888	239	16	20	103	11	15
先週比	-1	6	187	143	-11		5	22	5	7

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1		1		
～11か月	1	1		3		
1歳	4	4		1		1
2歳	3	1		4	1	
3歳	9	2		5		
4歳	11	3		3		
5歳	9	2		4		
6歳	5			6		
7歳	5					
8歳	4			2		2
9歳	1					
10～14歳	4	1		1		
15～19歳				5		1
20～29歳	1			3		4
30～39歳				7		3
40～49歳				3		1
50～59歳					1	3
60～69歳						1
70～79歳						5
80歳以上						
合計	57	15		48	2	21
先週比	8	8	-3	29	1	1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】 2008年20週

	風しん	麻しん
0歳		2
1歳		4
2歳		1
3歳		
4歳		1
5歳		1
6歳		2
7歳		1
8歳		2
9歳		2
10～14歳		8
15～19歳		10
20～29歳		8
30～39歳		5
40～49歳	1	1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	48

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年20週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	1		1		2					1
中央区		1	3	1	1	3				
みなと		3	16	63	13	2		4		
新宿区		1	4	30	9	1	2	4	1	
文京		1	6	8	1			1		
台東		3	13	29	1			2	1	
墨田区		1	16	12	6	1				3
江東区		5	12	72	9	2	2	4		
品川区			26	45	9			8		2
目黒区		1	6	2	1		1	1		
大田区		12	32	68	12		1	5	2	
世田谷			12	36	5	1		3		
渋谷区			2	9	3	1				
中野区			8	44	14		1	1		
杉並		4	11	61	3			4		
池袋			5	7	2			1		1
北区		2	10	7	10			2		
荒川区		1	12	10	14			1		
板橋区			2	14	5			2	1	
練馬区		2	5	21	8			5		
足立		1	14	37	10		1	10		
葛飾区			8	18	5			4		1
江戸川		3	30	25	7			3		1
八王子市		8	40	59	28	1	5	9	4	
西多摩		1	15	24	7		1			1
南多摩			18	29	4	3		6		2
町田		1	62	63	13		5	7	1	
多摩立川			4	13	9		1		1	
多摩府中		3	8	25	6			5		
多摩小平		10	35	56	22	1		11		3
島しょ			1							
東京都合計	1	64	437	888	239	16	20	103	11	15

全数把握対象疾患
(風しん、麻疹)報告数

【保健所別】2008年20週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区	1					1
みなと	2			1		
新宿区		1				2
文京						1
台東	2					
墨田区						
江東区		1				2
品川区		2		14		
目黒区						
大田区	1			1		
世田谷	3	1				
渋谷区	2					
中野区	2					
杉並	4			1		
池袋				1		
北区	3					
荒川区	13			6	1	
板橋区	1	1				
練馬区	1			4		1
足立	6	3		4	1	4
葛飾区	2					
江戸川				5		1
八王子市	7	4		1		1
西多摩				1		1
南多摩	1			1		
町田	2			3		5
多摩立川	2					
多摩府中		2				
多摩小平	2			5		2
島しょ						

東京都合計	57	15	-	48	2	21
-------	----	----	---	----	---	----

	風しん	麻疹
千代田		1
中央区		
みなと		
新宿区		1
文京		3
台東		5
墨田区		1
江東区		1
品川区		2
目黒区		
大田区		4
世田谷		1
渋谷区		
中野区		2
杉並		1
池袋		1
北区		1
荒川区		
板橋区		2
練馬区		4
足立		
葛飾区		3
江戸川		2
八王子市		1
西多摩		2
南多摩	1	
町田		4
多摩立川		3
多摩府中		3
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	1	48
-------	---	----

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】2008年20週

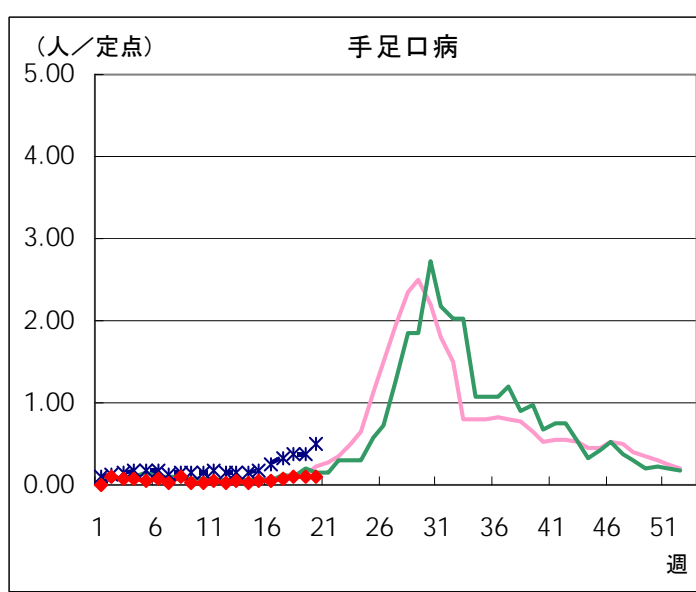
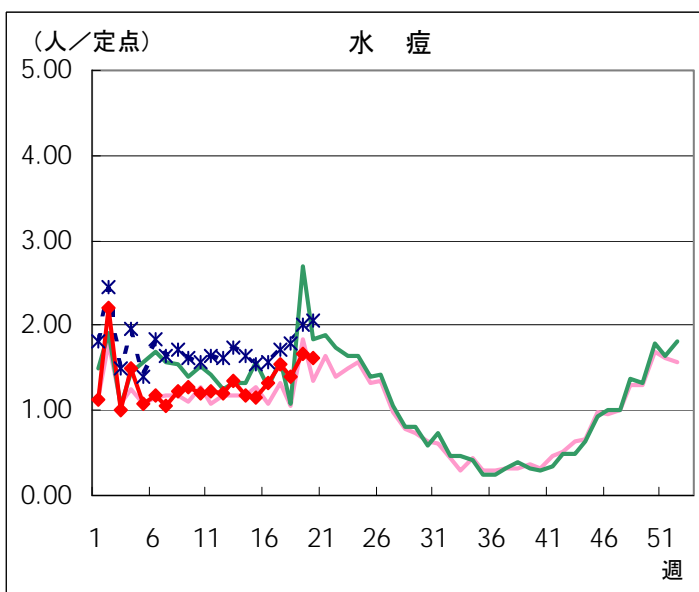
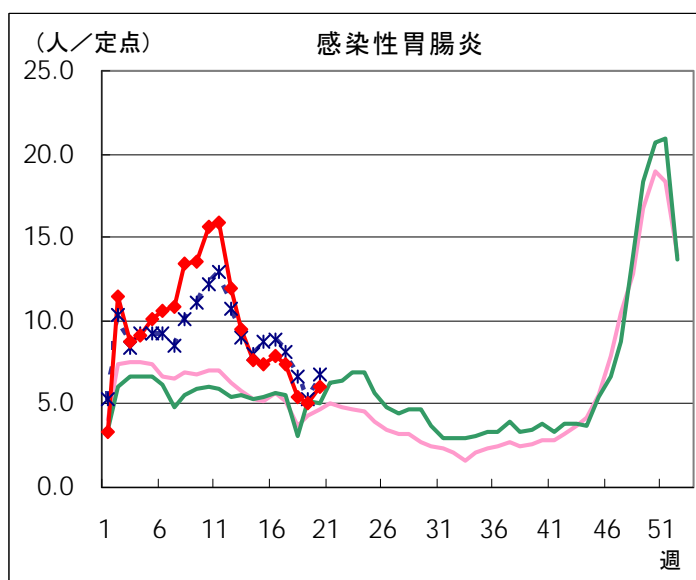
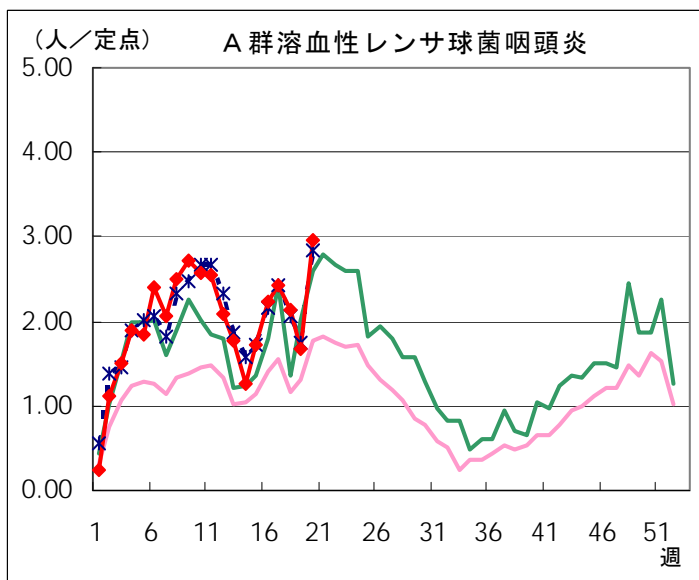
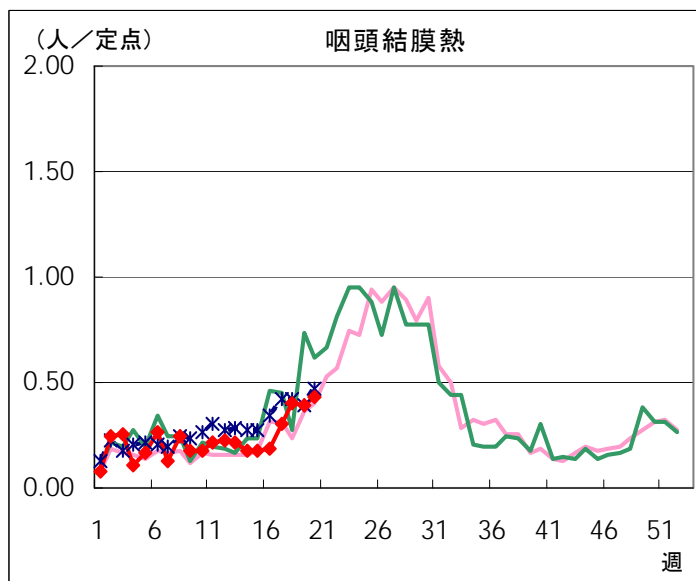
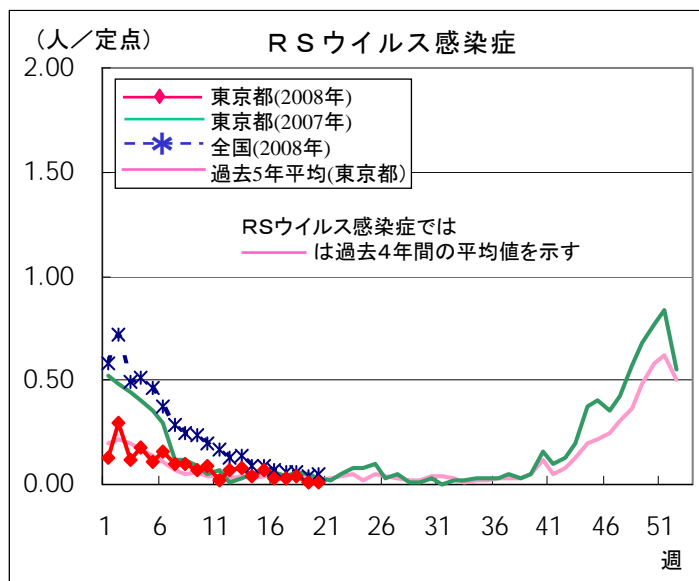
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	0.25		0.25		0.50					0.25
中央区		0.33	1.00	0.33	0.33	1.00				
みなと		0.50	2.67	10.50	2.17	0.33		0.67		
新宿区		0.17	0.67	5.00	1.50	0.17	0.33	0.67	0.17	
文京		0.33	2.00	2.67	0.33			0.33		
台東		1.00	4.33	9.67	0.33			0.67	0.33	
墨田区		0.33	5.33	4.00	2.00	0.33				1.00
江東区		1.25	3.00	18.00	2.25	0.50	0.50	1.00		
品川区			4.33	7.50	1.50			1.33		0.33
目黒区		0.33	2.00	0.67	0.33		0.33	0.33		
大田区		1.33	3.56	7.56	1.33		0.11	0.56	0.22	
世田谷			1.50	4.50	0.63	0.13		0.38		
渋谷区			0.50	2.25	0.75	0.25				
中野区			1.33	7.33	2.33		0.17	0.17		
杉並		0.67	1.83	10.17	0.50			0.67		
池袋			1.25	1.75	0.50			0.25		0.25
北区		0.50	2.50	1.75	2.50			0.50		
荒川区		0.50	6.00	5.00	7.00			0.50		
板橋区			0.33	2.33	0.83			0.33	0.17	
練馬区		0.40	1.00	4.20	1.60			1.00		
足立		0.20	2.80	7.40	2.00		0.20	2.00		
葛飾区			2.00	4.50	1.25			1.00		0.25
江戸川		0.60	6.00	5.00	1.40			0.60		0.20
八王子市		2.00	10.00	14.75	7.00	0.25	1.25	2.25	1.00	
西多摩										
南多摩			4.50	7.25	1.00	0.75		1.50		0.50
町田		0.25	15.50	15.75	3.25		1.25	1.75	0.25	
多摩立川			0.67	2.17	1.50		0.17		0.17	
多摩府中		0.33	0.89	2.78	0.67			0.56		
多摩小平		1.67	5.83	9.33	3.67	0.17		1.83		0.50
島しょ			1.00							
東京都	0.01	0.43	2.95	6.00	1.61	0.11	0.14	0.70	0.07	0.10

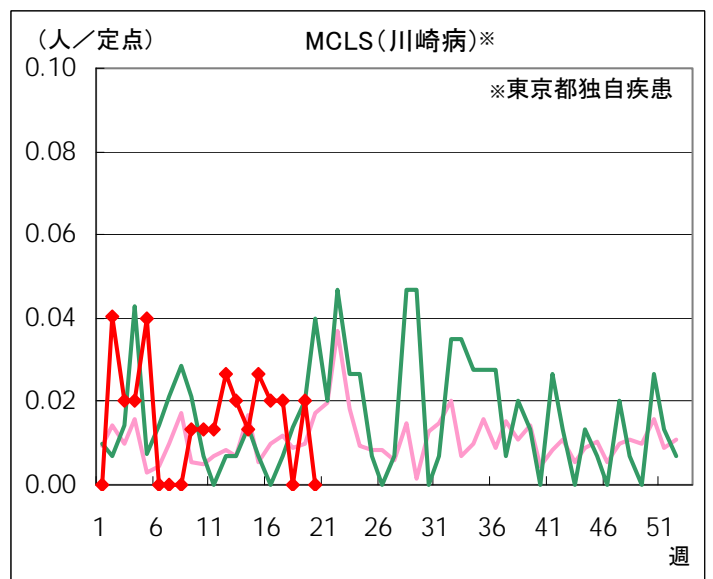
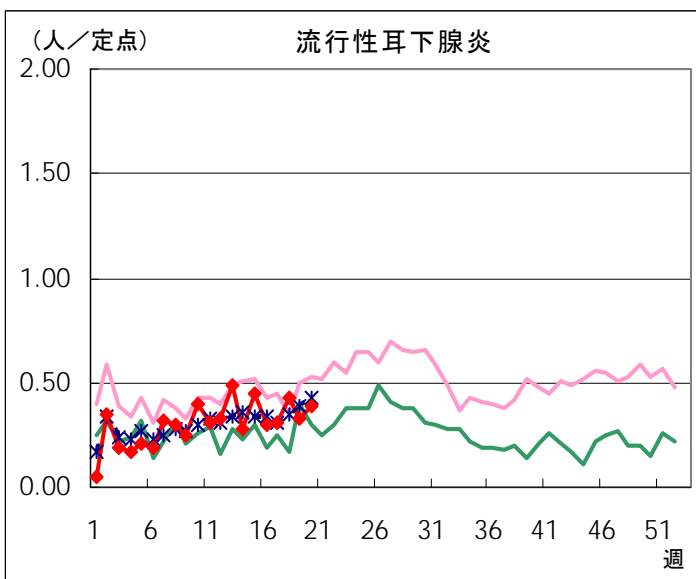
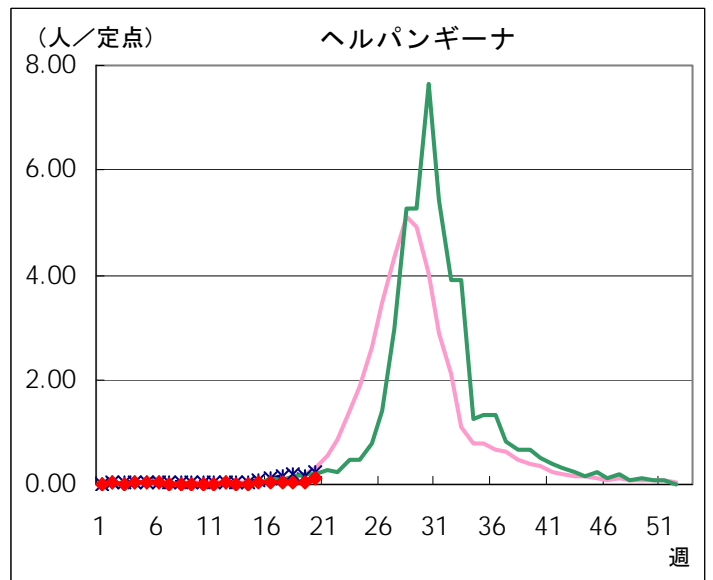
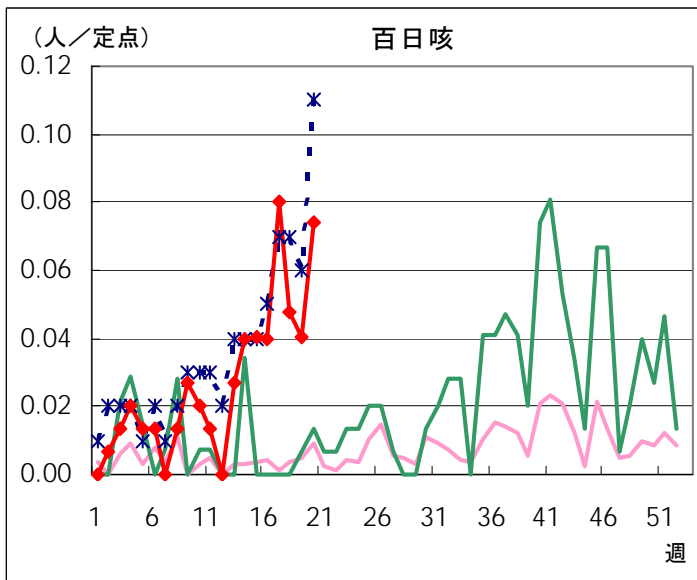
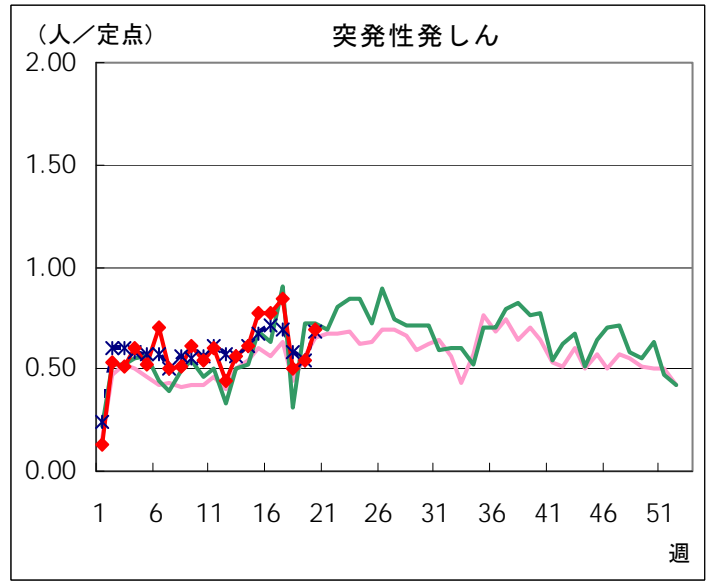
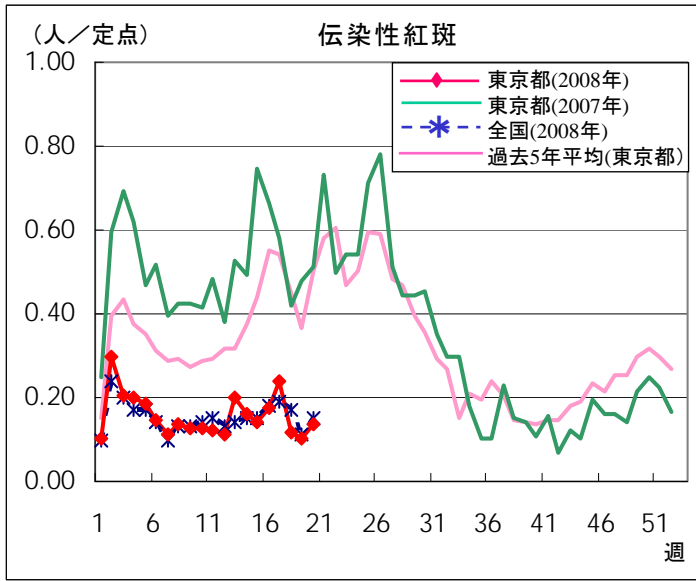
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区	0.33					1.00
みなと	0.33			0.13		
新宿区		0.17				1.00
文京						1.00
台東	0.67					
墨田区						
江東区		0.25				2.00
品川区		0.33		1.40		
目黒区						
大田区	0.11			0.06		
世田谷	0.38	0.13				
渋谷区	0.50					
中野区	0.33					
杉並	0.67			0.08		
池袋				0.14		
北区	0.75					
荒川区	6.50			1.50	1.00	
板橋区	0.17	0.17				
練馬区	0.20			0.33		0.50
足立	1.20	0.60		0.33	0.50	2.00
葛飾区	0.50					
江戸川				0.42		0.50
八王子市	1.75	1.00		0.10		0.50
西多摩				0.11		
南多摩	0.25			0.11		
町田	0.50			0.33		5.00
多摩立川	0.33					
多摩府中		0.22				
多摩小平	0.33			0.36		1.00
島しょ						

東京都	0.39	0.10	-	0.17	0.05	0.55
-----	------	------	---	------	------	------

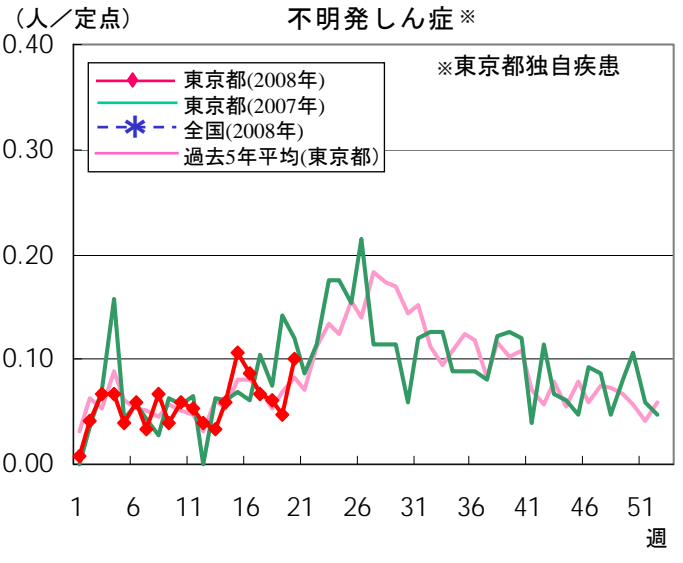
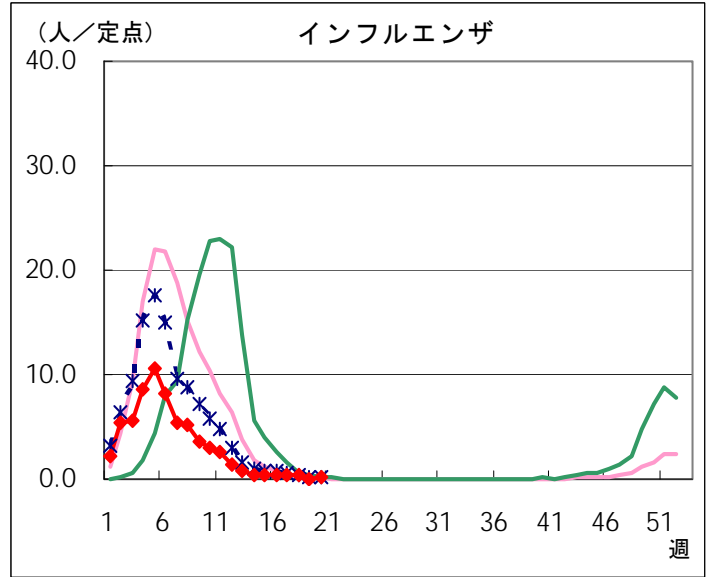
定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年20週現在

◆ 小児科定点

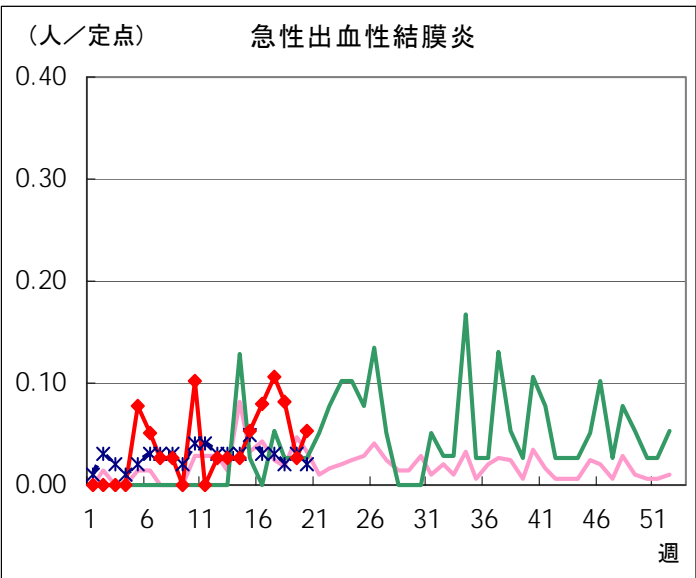
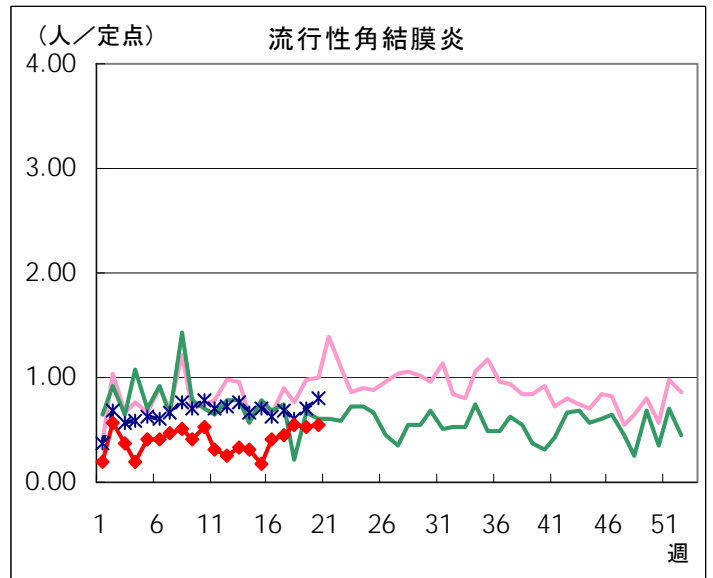




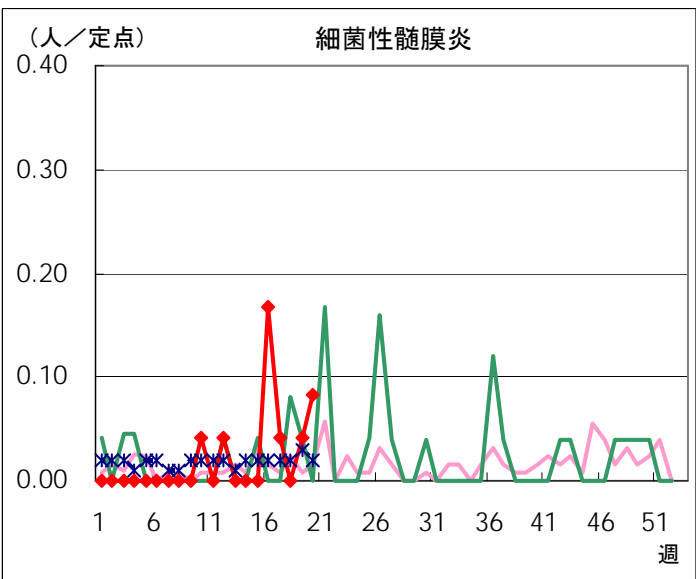
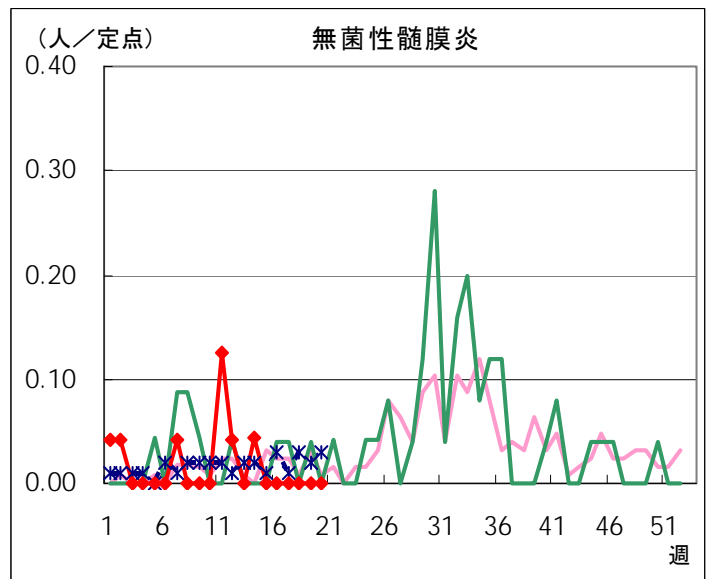
◆ インフルエンザ定点

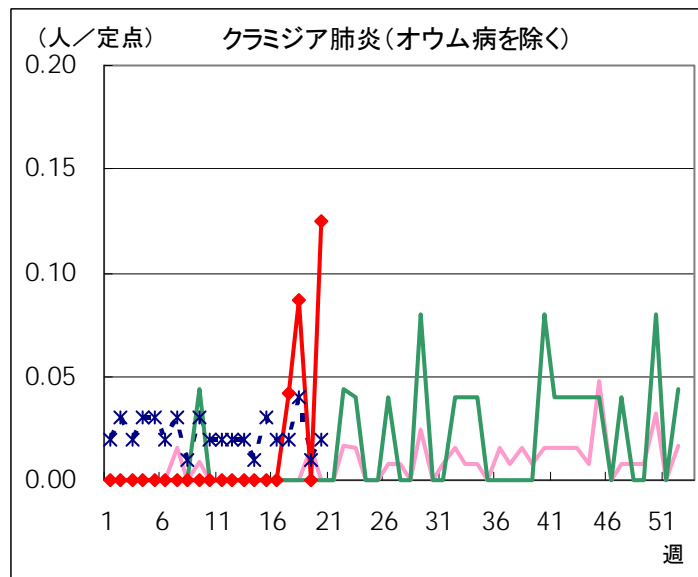
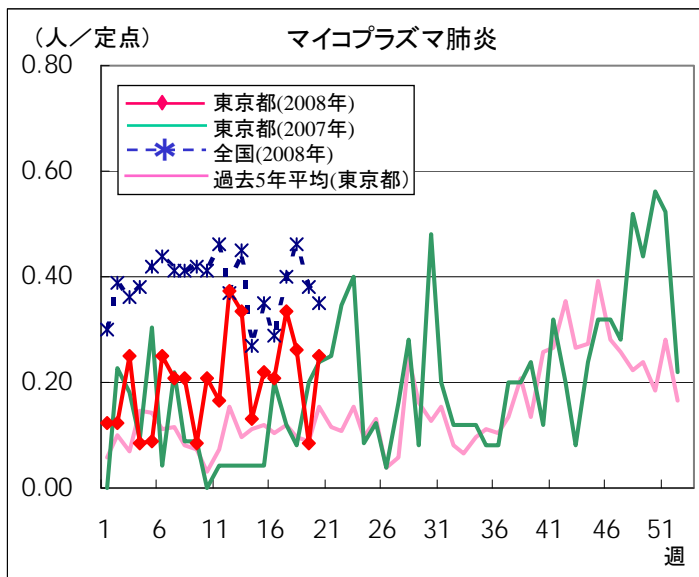


◆ 眼科定点

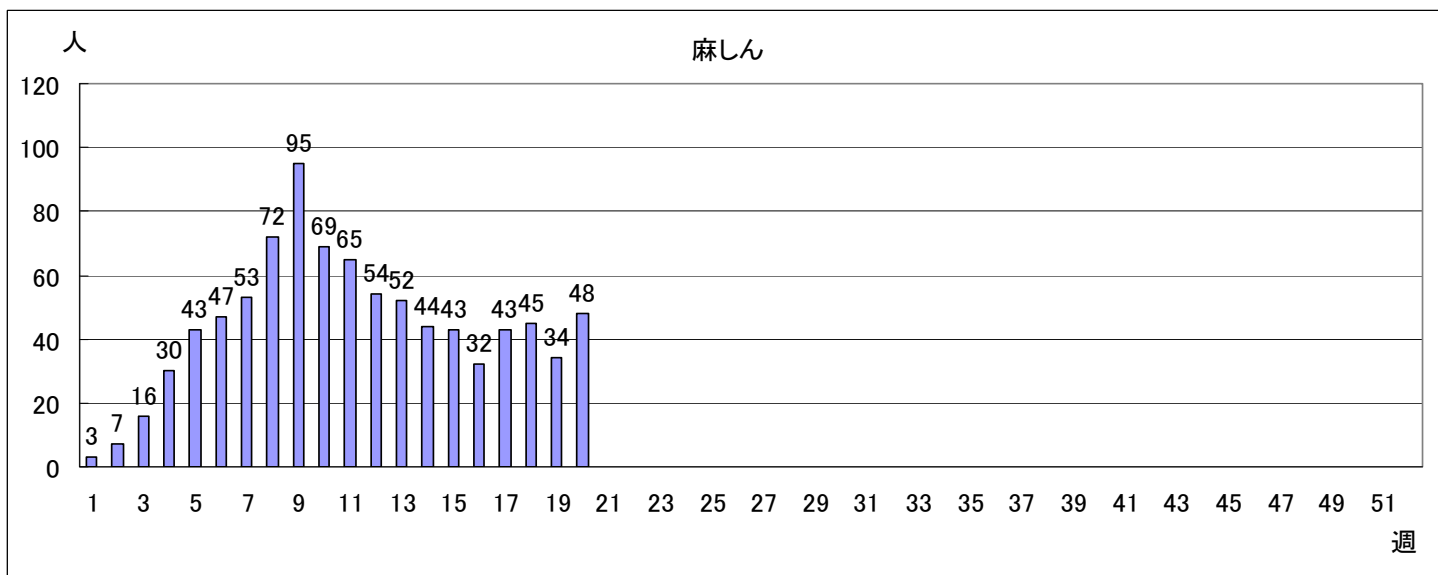


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年20週現在



病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
4/9	シェーンラインヘノッホ症候群	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
4/17	肺炎	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型	
4/21	肺炎	1	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型	
4/22	急性気管支炎 咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、 ライノウイルス	
4/23	川崎病	11M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
4/25	麻疹	24	咽頭拭い液	麻疹ウイルス	
4/25	クループ症候群 喘息様気管支炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス、 ライノウイルス	
4/27	ギランバレー症候群	39	尿	サイトメガロウイルス	
4/28	多発性硬化症 発熱	13	咽頭拭い液	EBウイルス	
4/28	無菌性髄膜炎 流行性耳下腺炎	7	髄液	ムンプスウイルス	
4/28	インフルエンザ*	29	鼻汁	インフルエンザウイルスAH3型	
4/29	麻疹	23	咽頭拭い液	麻疹ウイルス	
4/29	けいれん重積	11M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
			直腸拭い液	アデノウイルス	
4/30	咽頭炎	3M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
4/30	喘息様気管支炎	1	鼻汁	アデノウイルス、 ライノウイルス	
4/30	流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
4/30	遷延性下痢症	69	記載無し	アデノウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
4/30	RSウイルス感染症 マイコプラズマ肺炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス、 ライノウイルス	遺伝子
5/1	流行性耳下腺炎	8	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
5/1	不明発しん症	9M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
5/2	発熱	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/2	発熱	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/5	滲出性扁桃炎 副鼻腔炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/7	耳下腺腫脹	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、 ムンプスウイルス	
記載無し	急性上気道炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
記載無し	マイコプラズマ肺炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	
記載無し	急性咽頭炎	2	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
記載無し	急性細気管支炎	11M	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型	
記載無し	急性細気管支炎	9M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
記載無し	咽頭炎、不明発しん症	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
記載無し	無菌性髄膜炎	3	髄液	ムンプスウイルス	
記載無し	上気道炎	5M	鼻汁	ライノウイルス	
記載無し	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
記載無し	水痘	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、 ライノウイルス	

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008年							
		12	13	14	15	16	17	18	19
ウイルス	アデノウイルス	3	5	13	4	10	11		12
	ライノウイルス	1	2	2	8	6	4		11
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	1							1
	単純ヘルペスウイルス	1	1		1				
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7		3	2	7	8			1
	EBウイルス	1		2	1	3			1
	サイトメガロウイルス			1	1				3
	ムンプスウイルス		1	1		3	1		5
	麻疹ウイルス		1	2			2		2
	風しんウイルス								
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス		4						
	ノロウイルス			1	1	1	1		
	ロタウイルス	3	7		6	2			
インフルエンザウイルスAH1	3			1					
インフルエンザウイルスAH3	3		3	4	1		4	1	
インフルエンザウイルスB		1							
デングウイルス									
その他のウイルス	3	10	4	6	2	1		4	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌							9	
	その他の細菌						1		
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年12週～19週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	45	38	76	64	30			7				17	10	4	6		104	
ウイルス	アデノウイルス		6	19	7	2		4				1	3	1	1		14	
	ライノウイルス		6	16	2							4		1			5	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス				1								1					
	単純ヘルペスウイルス																	3
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		1	2									3					15
	EBウイルス													1				7
	サイトメガロウイルス		1	1														3
	ムンプスウイルス					2								8				1
	麻疹しんウイルス		1										1			5		
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス			4														
	ノロウイルス				4													
	ロタウイルス				18													
インフルエンザウイルスAH1	4																	
インフルエンザウイルスAH3	16																	
インフルエンザウイルスB	1																	
デングウイルス																		
その他のウイルス		4	24	2														
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		8														1	
その他の細菌			1															
その他の病原体																		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2008年4月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	94	1.71	55	55
		女	87	1.58		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	50	0.91		
		女	27	0.49		
	尖圭コンジローマ	男	43	0.78		
		女	25	0.45		
	淋菌感染症	男	77	1.40		
		女	14	0.25		
	膣トリコモナス症 *	男	3	0.05		
		女	10	0.18		
梅毒様疾患	男	9	0.16			
	女	1	0.02			
基 幹	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	49	2.04	24	24
		女	15	0.63		
	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	83	3.46		
		女	45	1.88		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	3	0.13		
		女	1	0.04		
2008/5/12集計						

* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2008年4月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	6			3		
20～24歳	13	5	5	8	1	
25～29歳	21	10	9	18		1
30～34歳	22	12	8	15		3
35～39歳	12	4	10	18	2	1
40～44歳	12	6	5	9		3
45～49歳	5	4	2	2		1
50～54歳	1	3	1	2		
55～59歳	1	2	1	1		
60～64歳	1	1	1			
65～69歳		2		1		
70歳～		1	1			
合計	94	50	43	77	3	9
先月数	116	45	68	72	0	6
増減数	-22	5	-25	5	3	3

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	6	1	2	1	2	
20～24歳	37	10	14	8	1	
25～29歳	19	5	4	3	1	1
30～34歳	15	3	5	1	1	
35～39歳	3	2		1	3	
40～44歳	4	2				
45～49歳	2	1			1	
50～54歳	1	2				
55～59歳		1				
60～64歳						
65～69歳						
70歳～					1	
合計	87	27	25	14	10	1
先月数	119	43	36	14	15	3
増減数	-32	-16	-11	0	-5	-2

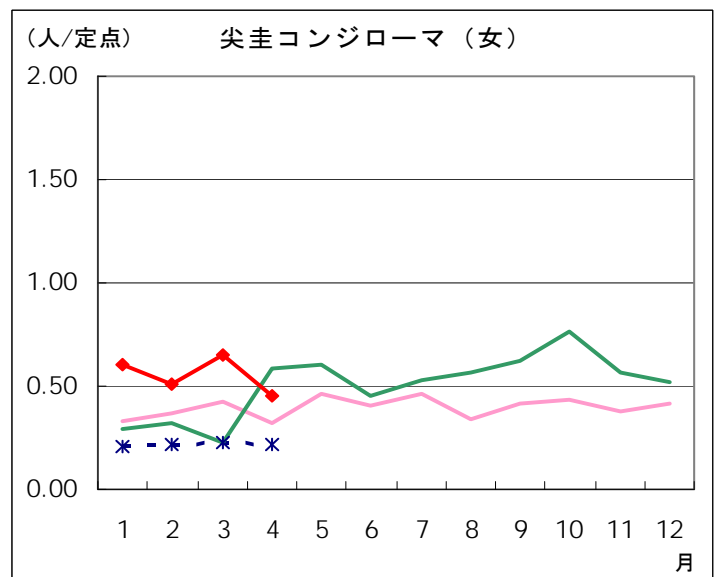
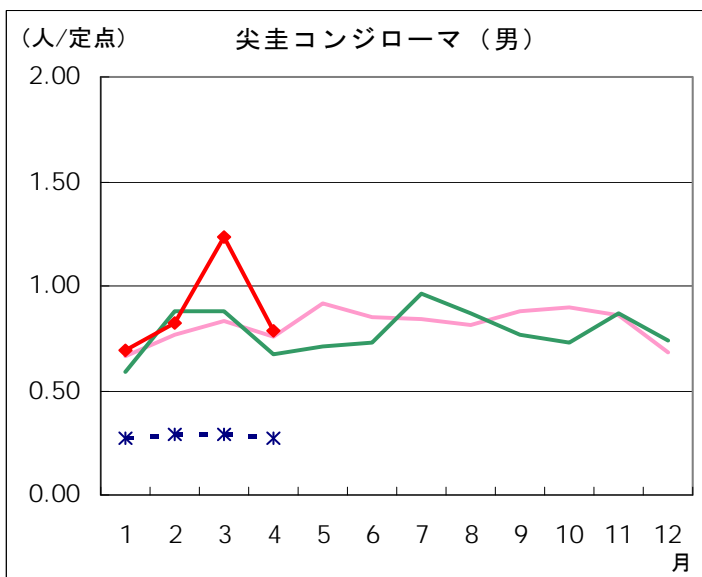
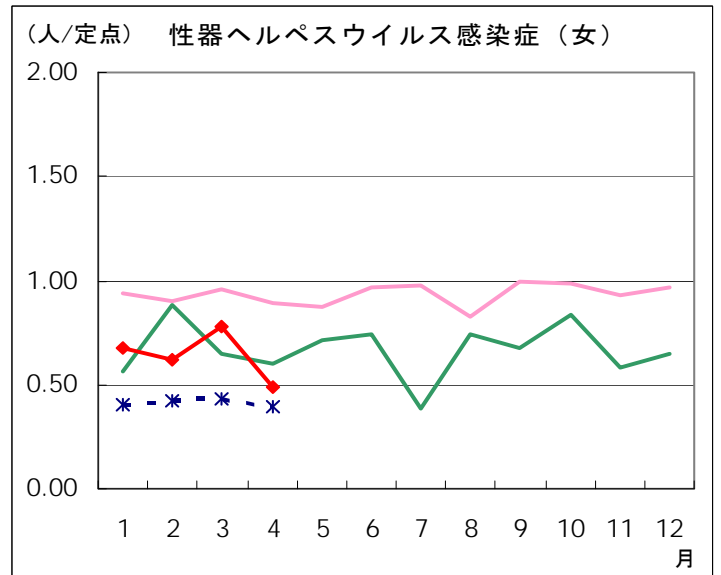
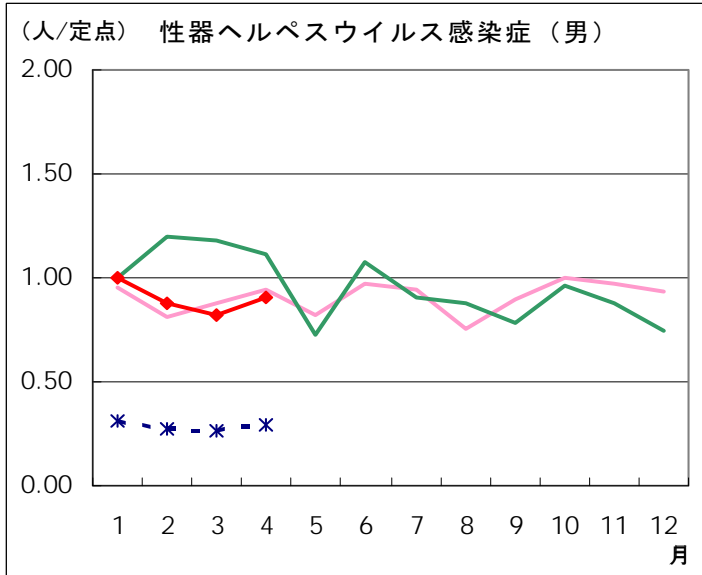
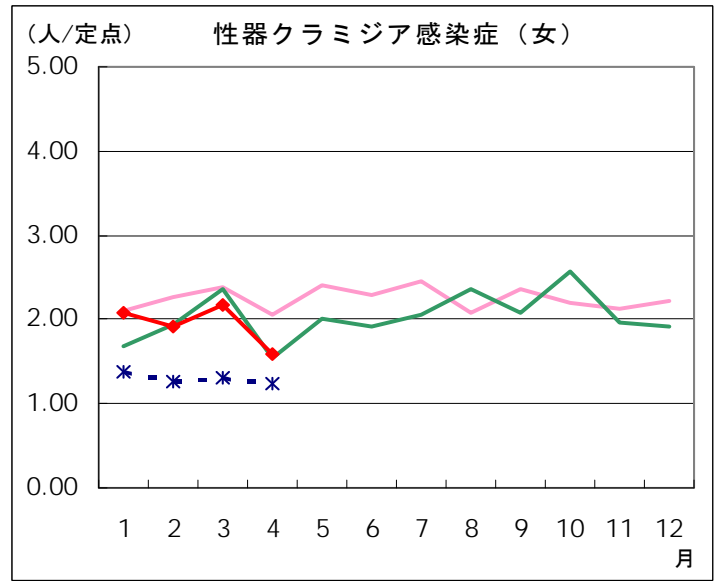
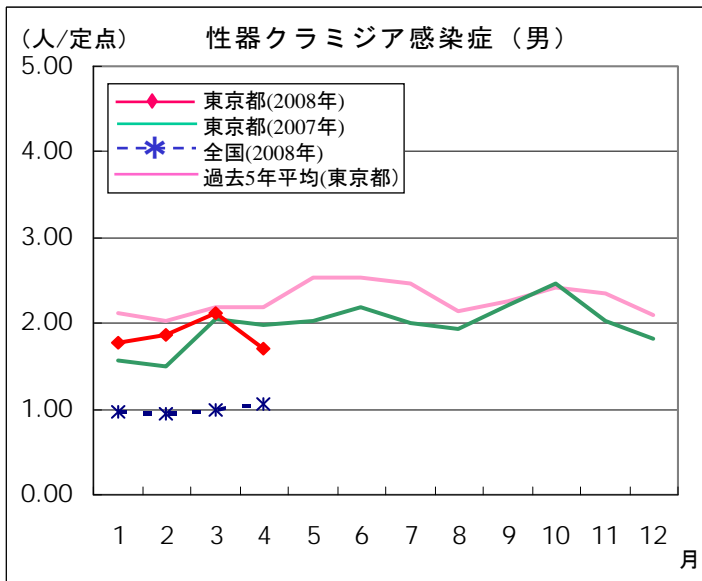
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2008年4月

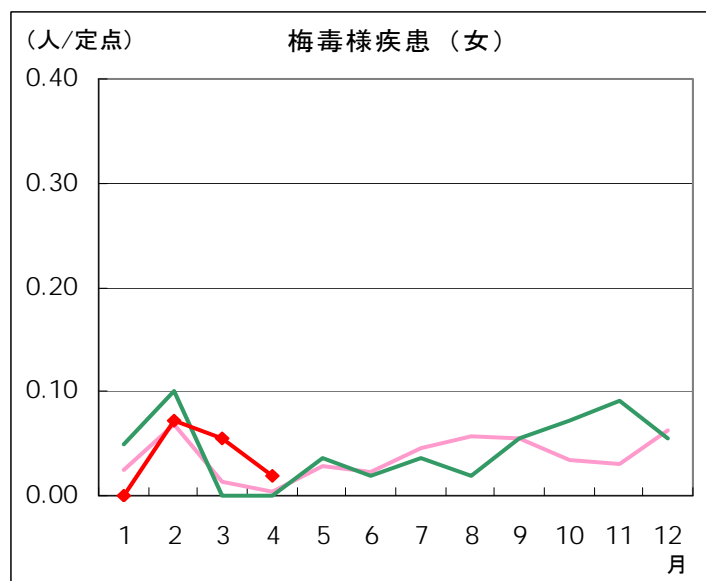
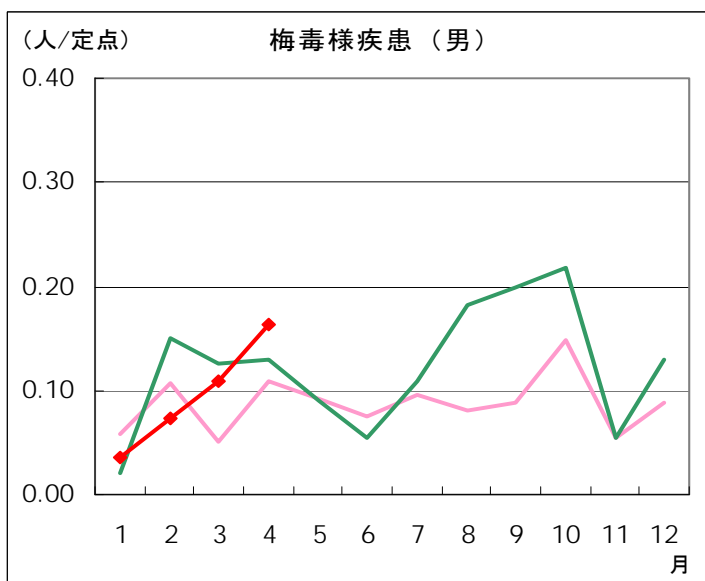
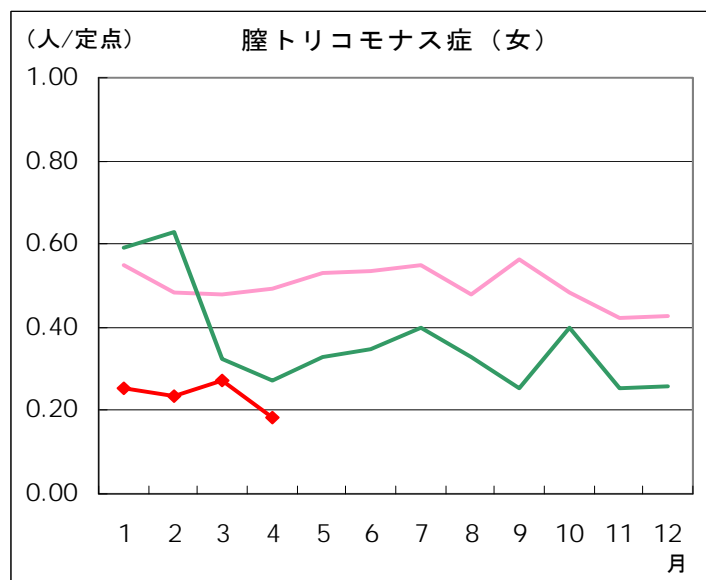
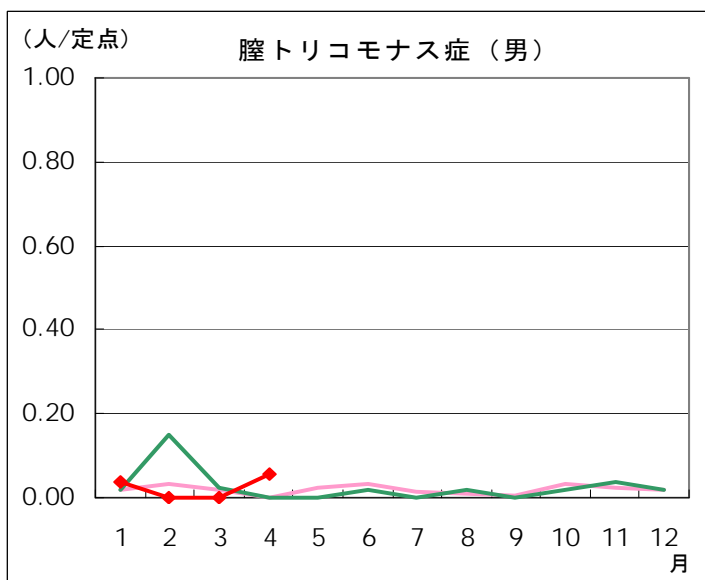
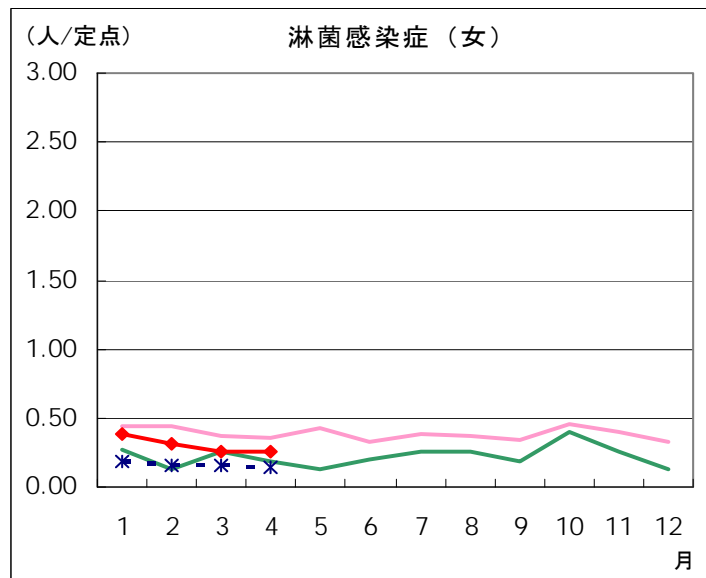
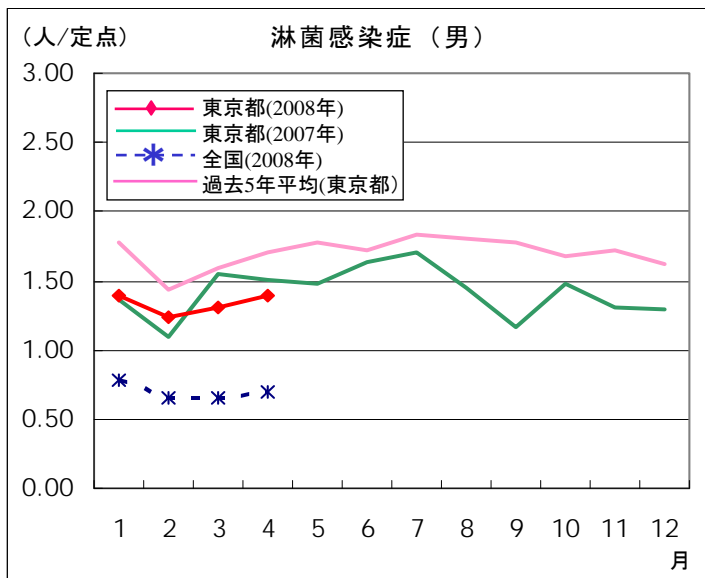
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	9	3	3	11		
中央区	3	3	3	1	2		
みなと	2	5	1	1	2	1	
新宿区	6	13	21	23	20		5
文京	1	6	2		4		
台東	3	1					
墨田区	2	3		1			
江東区	2	15	5	4	7		1
品川区	1	1	1				
大田区	2	2					
渋谷区	5	8	3	1	5		2
中野区	2	2	1		5		1
杉並	2	4	1	1	5		
池袋	3	13	7	5	4		
北区	1						
荒川区	1						
板橋区	2			1	4		
足立	2		2	2	3		
江戸川	2	8			3	1	
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3	1			2		
多摩小平	1					1	
合 計	55	94	50	43	77	3	9
定点当たり		1.71	0.91	0.78	1.40	0.05	0.16

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2						
中央区	3						
みなと	2	7	2	5	1		
新宿区	6	7	8	5	3		
文京	1						
台東	3	16	4	2	2	2	
墨田区	2	2					
江東区	2		1				
品川区	1						
大田区	2	4	1				
渋谷区	5	3	1	4	1	2	
中野区	2	3		1	1	1	
杉並	2	2				1	
池袋	3	7	4	1	1	2	1
北区	1						
荒川区	1	1					
板橋区	2	1	1			1	
足立	2						
江戸川	2	6	2	1	1		
八王子市	4	15		5	2	1	
町田	1	1	3				
多摩立川	2	12		1	2		
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	55	87	27	25	14	10	1
定点当たり		1.58	0.49	0.45	0.25	0.18	0.02

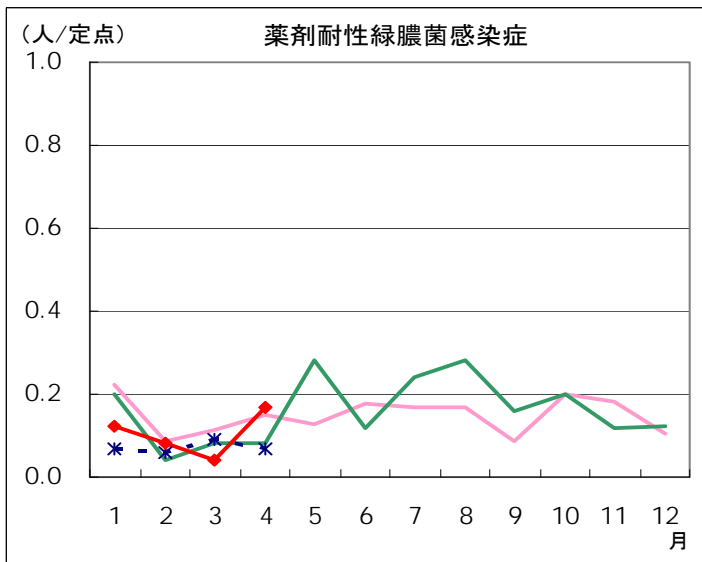
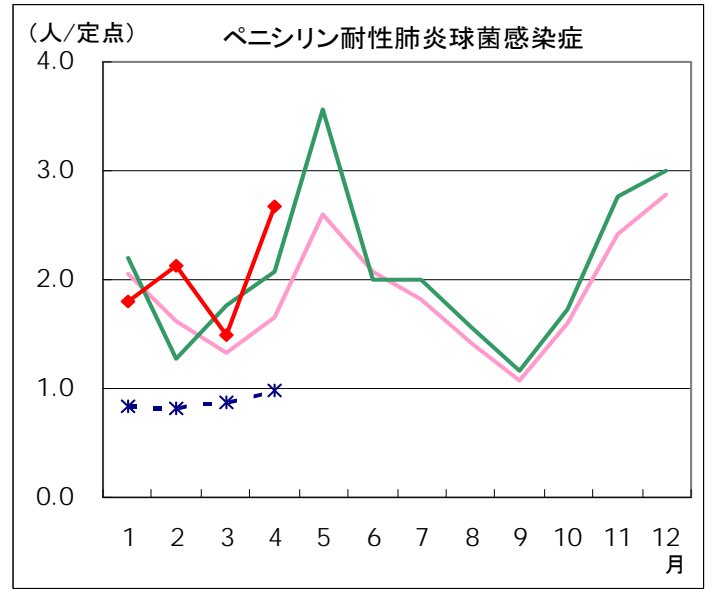
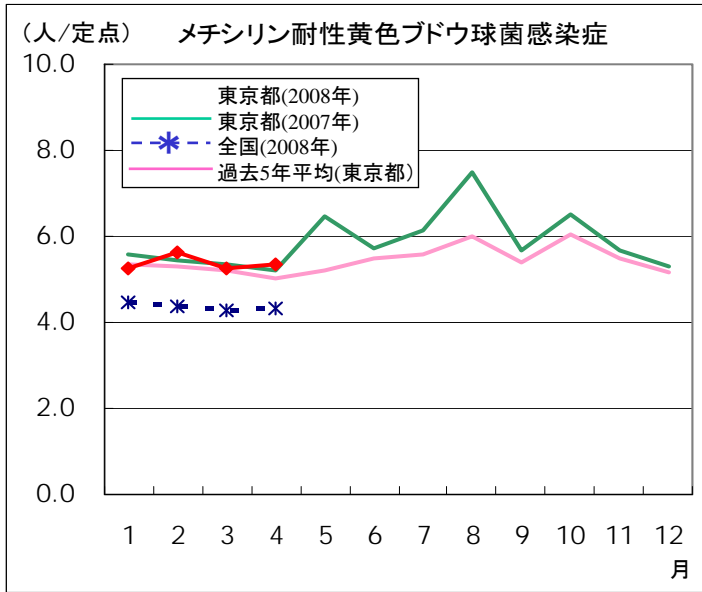
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2008年4月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
4/3	尿道炎	30	男	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	クラミジア	遺伝子
4/7	尿道炎	57	男	尿	カンジダ	分離
4/7	クラミジア頸管炎	18	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	クラミジア	遺伝子
4/8	子宮頸管炎	20	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	淋菌、クラミジア	遺伝子・ 分離
4/8	淋菌性尿道炎	23	男	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	淋菌、クラミジア	遺伝子・ 分離
4/8	尿道炎	32	男	尿	クラミジア	遺伝子
4/8	尿道炎	26	男	尿	淋菌、クラミジア	遺伝子
4/8	尖圭コンジローマ	26	男	コンジローマ部位	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
4/9	尿道炎	41	男	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	クラミジア	遺伝子
4/9	尿道炎	41	男	尿	淋菌	遺伝子・ 分離
4/10	尿道炎	34	男	尿	クラミジア	遺伝子
4/15	淋菌性尿道炎	25	男	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	淋菌、クラミジア	遺伝子
4/15	陰茎ヘルペス	34	男	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	遺伝子
4/15	肛囲疣贅	36	男	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子
4/21	尿道炎	35	男	尿	クラミジア	遺伝子
4/21	尿道炎	45	男	尿	淋菌	遺伝子
4/23	尖圭コンジローマ	52	男	コンジローマ部位	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子